

全国大学高専教職員組合（全大教）は、1989年に結成されました。全国の各国立大学・公立大学・大学共同利用機関・国立高専の教職員組合の連合体で、現在は109の組合が参加しています。各教職員組合には、あらゆる職種の人々が加入しています。

全国大学高専教職員組合

連絡先など詳細については、HPをご覧ください。
<https://zendaikyo.or.jp/>



あなたの組合加入をお待ちしています

国立大学等の教職員の労働条件は、労働者と使用者の交渉（労使交渉）によって決定されます。仕事や職場の問題は個人では解決できなくても、教職員一人ひとりが力を合わせれば解決出来ることが数多くあります。その活動拠点となるのが組合です。

非常勤職員の皆さんも入れます

私たちは
考えて
います

大学の未来について

- POINT 国公立大学、高専、大学共同利用機関の教育と学術研究の機能を充実
- POINT 運営費交付金の基盤的経費を増額
- POINT 多忙化の解消、十分な研究時間の確保
- POINT 教職員が意欲をもって仕事ができるよう給与水準の改善
- POINT 若手教員の安定的なポストを確保
- POINT 非常勤職員の労働条件の改善と無期雇用の促進
- POINT 国公立大学の学費の引き下げ、高等教育無償化、奨学金制度の拡充

よりよい明日をあなたとともに

笑顔の
毎日を

充実した
教育研究を

組合加入申込書

年 月 日

お名前	職場
連絡先 (TEL)	e-mail

お問い合わせ
組合名

組合は 労働条件の 守り手です



大浦 由美 (和歌山大学)

山口 裕之 (徳島大学)

市沢 哲 (神戸大学)

ミツヨ・ワダ・マルシアーノ (京都大学)

仕事や職場のことで悩みや問題を感じたとき、協力して、解決へ向けた話し合いを法人と対等に出来るのが労働組合です。今ではすっかり「当然」になった働く条件も実は組合の取り組みの結果、実現したものが数多くあります。

何か困っていないか、何を感じているのか、孤立していないか、さりげなくお互いを見守り、声をかけ合う職場を、いっしょにつくりましょう！

全大教は、それぞれの大学が自主的・自律的に、より良い教育・研究を行うことができるよう、文科省や財務省、国会議員等に要請や会見を行っています。

全大教に加盟する組合は、法人との団体交渉によってさまざまな労働条件の改善を図っています。「働きやすい職場づくり」のために現場の声を届けています！

※各大学の労使交渉結果ですので全国一律ではありません。詳しくは各組合へお問い合わせ下さい。

大八木 美絵 (名古屋大学)



私たちの声を届けています

全大教は、教育・研究・医療の充実にむけて、文科省や財務省、国会議員、関係団体への要請等を行っています。



▲中教審での意見発表



▲財務省会見



▲文部科学省会見



▲日本学術会議との懇談



▲厚生労働省委請

いっしょに つくりましょう！ 私たちのがんばりにしっかり応え、 モチベーションアップ！な労働条件を

新型コロナへの対応

医療現場での献身的業務、遠隔での教育研究や業務、感染防止対策、在宅勤務制度の整備、学生のサポートなど。

労働条件の改善

不安定・無限定な年俸制の改善、昇格の改善、各種手当の改善、サバティカル制度の改善、長時間労働の是正、各種休暇の充実など。

ハラスメントのない職場

ハラスメント相談体制の充実。だれもが気持ちよく働くことができる職場環境の実現。

非常勤職員の待遇改善

正規職員との待遇差の解消、正規職員化、継続雇用・無期転換促進など。

ウェルカムメッセージ

病院で看護師として働きながら、組合活動に参加しています。現場で働く中で様々な不満や、こんな職場だったら働きやすいのに、と思うことが多々あります。個人ではただのつぶやきで終わってしまいますが、組合は実際に病院に声を届けることができます。「医科系大学教職員懇談会」では全国で活動する組合員と情報を共有し、職場以外にも全国に自分の味方がいるのだと実感し、心強く感じています。

組合は数が命です。皆様のご加入をお待ちしています。



病院協議会幹事 早瀬 樹希 (名古屋大学)

先日、日本の賃金低下はなぜ?と議論していた「硬くない」テレビ番組で「組合の役割が大事で、再評価が必要」という話を「意外な」コメンテーターがしていて驚きました。

そう！職場で「それっておかしくない?」「なんとかならないの!」という不満が渦巻いても、それが「みんなの言葉」にならないのは組合と皆さんの絆が弱いからではないでしょうか。「組合って…ちょっと?」という壁が絆を弱めているかもしれません。

組合(ユニオン)という「結びつき」が「団結」となるとみんなを守る力になります。社会を良くする豊かな民の力となります。

いざというときに頼れる「保険」のような存在が組合でもあります。皆さんの「そっか、組合っていいじゃないか」の声を待っています。



中央執行委員長 鳥畑 与一 (静岡大学)

コロナ禍、大学附属病院の女性医療従事者は、膨大に増えた仕事や家庭と子育てのすべてを背負ってしまいがちです。誹謗中傷にさらされることもあります。

教育の場では、リケ女教育など、何等かの努力が見られてきましたが、理工系の女性研究者を積極的に雇用しようとする政策は積極性を欠き始めています。

ここは、「女性部」とはありますが、本来周知的な立場にある人たちのサポートと協力の場としても女性部があればよいと思っています。

この「自由に語れる場」へ気軽に参加していただきたいと思います。



女性部長 三宅 良美 (秋田大学)

労働者の労働環境は労使の力関係の上に成り立っています。我々はその関係を、少しでも労働者に有利なものにしたいと考えています。そのためには大きな声をあげねばなりません。だからあなたの力が欲しいのです。

現在の労働者はその権利と健康を守る制度の中で働いています。我々は使用者に、そのような制度をきちんと守ってもらいたいと考えています。そのためには大きな声をあげねばなりません。だからあなたの力が欲しいのです。

あなたの加入が労使の「労」を強く、環境の改善につながります。力を貸して下さい。



高専協議会議長 岡本 勝規 (富山高専)